

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農林企画課		■担当係	産業連携推進係		
■評価事業名称	ふるさと便PR事業					
■事業開始年度	平成26年6月					
■評価事業コード	050100 - 907	■会計区分	一般会計			
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり				
	■基本施策	03 魅力ある農林業の振興				
	■施策	02 農産品の高付加価値化と新たな流通の開拓				
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策			
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの					
■法令等の名称						
■関連計画の名称						
■事業目的と概要	農産物等特産品を広く周知することにより、北上産農産物のイメージアップを図る。ふるさと北上応援寄附の寄附者に北上市の農産物等特産品を御礼として送付することで、広く北上産農産物等特産品の紹介を行うもの。					

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成27年度事業計画	平成27年度事業量実績
01	ふるさと便PR事業	ふるさと北上応援寄附・寄附者	ふるさと納税の納税者へ御礼として農産物等特産品の送付	ふるさと北上応援寄附(ふるさと納税) 寄附件数 38,320件 寄附金額 570,478千円(H28.3月末)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費			63,173	273,456	
人件費			10,199	22,192	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト			73,372	295,648	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	寄附件数	47件	58件	12,537件	38,320件	
02	寄附金額	5,022,000円	3,332,000円	140,157,017円	570,478,409円	

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

達成状況の分析		問題点・課題等	
■目標達成状況	<p>● A. 順調 ○ B. 概ね順調 ○ C. 遅れている</p>	<p>・北上市らしい特産品を全国の寄附者に提供することができたため、北上市のPRに繋がっている。 ・中小企業や小規模農家の支援など産業振興の面でも貢献しているところは大きい。</p> <p>・業務量が年々増加傾向であることから、業務委託を行っているが、業務が完全移行するまで時間が掛かる見込みである。</p>	
1. 直接的な受益者の範囲	<p>○ 不特定多数に及ぶ ● 特定されるが多数に及ぶ ○ 特定少数に限定される</p>	<p>2. 事業廃止の影響</p> <p>● 大きな不利益やリスクが生じる ○ ある程度の不利益やリスクが生じる ○ 不利益やリスクは小さい</p>	<p>3. 国・県・民間との競合関係の有無</p> <p>○ 類似の事業はない ● 類似の事業はあるが競合はない ○ 類似の事業があり競合する</p>
4. 事業へのニーズの変化	<p>● ニーズが高まっている ○ ニーズは変わらない ○ ニーズが低下している又は合致しない</p>	<p>5. 施策の改善需要度(市民意識調査)</p> <p>○ 順位が高い ● 順位が中程度 ○ 順位が低い</p>	<p>6. 施策の優先度(市民意識調査)</p> <p>● 順位が高い ○ 順位が中程度 ○ 順位が低い</p>
7. 他市町村に比較しての優位性	<p>● 先進的またはユニークな事業である ○ 他と同程度の事業である ○ 遅れている事業である</p>	<p>8. 実施主体の代替性</p> <p>○ 民間委託等の拡充は難しい ● 民間委託等の拡充が十分に可能 ○ 全部委託や実施主体の移行が可能</p>	<p>9. 経済性・効率性の向上</p> <p>● 今以上の効率化や改善は難しい ○ 効率化や改善を図ることは十分に可能 ○ 効率化や改善の余地が大きい</p>
■事業の見直し方策	<p>中小企業・小規模農家の支援など産業振興の面で拡充していく必要があると思われるため、発注業務などを民間事業者へ委託し、業務改善を図っていく。</p>		
■今後の方向性	<p>● I. 拡充 ○ IV. 廃止・休止 ○ II. 継続 ○ V. 完了 ○ III. 縮小</p>		